令和３年度日田市学力向上に関する取組の報告

日田市教育庁学校教育課

日田市教育委員会では、「令和３年度日田市学力向上アクションプラン」を作成して、学力の向上に取り組みました。

「令和３年度日田市学力向上アクションプラン」に基づいた令和３年度の取組についてご報告します。

＜用語の説明＞

◇学校評価４点セット：各学校が学校教育課題の解決に向けて組織的に取り組むために、重点目標を焦点化・具体化した様式

◇正答率：全設問に対して児童生徒が正答した割合（集団の場合は平均値）。

◇全国比：全国の平均正答率を１００とみたときの日田市の割合。

◇偏差値：個人や集団の相対的位置を、５０を基準とした指数として表した指標。

１　令和３年度の目標

（１）児童生徒の学力に関する目標

〇基礎的・基本的な知識・技能の定着

〇思考力・判断力・表現力の向上

〇学びに向かう力の向上

【達成指標】

「令和３年度学校評価の４点セット」における学力に関する目標の達成度（４段階）

→全小中学校の平均値　３．５以上

（２）若手教員の人材育成に関する目標

〇若手教員の授業力向上

〇管理職、教務主任等による校内指導体制の充実

【達成指標】

アンケートにおいて「自身の授業改善が進んでいる」と回答した採用１０年以内の教諭の割合

→８０％以上

２　達成状況

（１）児童生徒の学力に関する目標について

①各学校が作成した学力に関する目標から

〇各学校が作成した「令和３年度学校評価の４点セット」における学力に関する目標の達成状況

・全小中学校平均値　３．４（令和　２年度　３．１）

②各学力調査結果から

〇令和３年度全国学力・学習状況調査　（令和３年５月２７日実施　全小・中学校）

≪平均正答率≫　※色付き部分は全国値以上

	小学校６年生	
	国語	算数
日田市	６４	６７
大分県	６６	７０
全国	６５	７０
全国比	９８	９６

	中学校３年生	
	国語	数学
日田市	６５	５６
大分県	６６	５７
全国	６５	５７
全国比	１００	９８

〇令和３年度大分県学力定着状況調査　（令和３年４月２０日実施　全小・中学校）

≪偏差値≫　※色付き部分は偏差値５０以上

	小学校５年生					
	国語		算数		理科	
	知識	活用	知識	活用	知識	活用
日田市	５１	５２	５２	５２	５２	５０
大分県	５１	５２	５２	５２	５１	５１

	中学校２年生									
	国語		社会		数学		理科		英語	
	知識	活用	知識	活用	知識	活用	知識	活用	知識	活用
日田市	５１	５１	５０	４９	５０	４９	５０	４９	５０	４９
大分県	５２	５１	５１	５０	５１	５１	５１	５１	５１	５０

〇令和３年度１月日田市実施分学力調査　（令和４年１月１４日実施　全小・中学校）

【小学校】《正答率》　※色付き部分は全国値以上

学年	１年生		２年生		３年生		４年生			
教科	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	社会	算数	理科
日田市	８０	８７	８１	７４	７４	７３	６９	６２	７１	６７
全国	７６	８１	８２	７２	７６	６９	６９	６２	６７	７１

学年	５年生				６年生			
教科	国語	社会	算数	理科	国語	社会	算数	理科
日田市	６９	６５	６９	６７	６９	７２	７６	６７
全国	６９	７０	６４	６７	６９	７６	７３	６５

【中学校】《正答率》　※色付き部分は全国値以上

学年	１年生					２年生				
教科	国語	社会	数学	理科	英語	国語	社会	数学	理科	英語
日田市	６２	５９	５８	５９	５３	６４	６４	５４	５９	４６
全国	６１	５７	５７	５８	５５	６２	５９	５６	６１	４７

＜４，５月時点の学力調査（全国調査・県調査）と１月実施の学力調査の比較＞

〇小学校５年生

・４月県調査、１月市調査ともに国語・算数・理科で全国平均を上回っている。

〇小学校６年生

・５月全国調査で全国平均を下回っていた国語・算数において、１月市調査では国語・算数ともに全国平均を上回り改善が見られた。

〇中学校２年生

・４月県調査では、国語と社会・数学・理科・英語の知識において全国平均以上となったが、１月市調査においてもほぼ同様の結果であった。

→全国及び県調査で課題があった学年の学習定着状況について概ね改善がされている。

＜日田市学力調査からの分析（小学校１年～中学校２年）＞

〇知識・技能の観点において全国平均以上の教科数（16/28 教科）

〇思考・判断・表現の観点において全国平均以上の教科数（20/28 教科）

〇主体的に学習に取り組む態度の観点において全国平均以上の教科数（19/28 教科）

→３観点いずれも半数以上の教科で全国平均を上回っている。

以上のことより児童生徒の学力に関する目標は概ね達成できた。

（２）若手教員の人材育成に関する目標について

〇採用１０年目以内の教諭を対象としたアンケートにおいて「自身の授業改善が進んでいる」と回答した教諭の割合

・８６．９％（１１３/１３０名）

（参考）管理職または教務主任等が、若手教員に対して学期に３回以上授業参観した学校の割合

・９６．６％（２９/３０校）

→管理職等の授業参観における指導・助言等により、若手教員の授業改善が進んでいる。

以上のことより若手教員の人材育成に関する目標は達成できた。